



JARL 青森県支部報

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟
青森県支部

発行人：平川正敏 JR7GBL
編集人：安斎庄次 JH7DXJ
編集人：石岡洋一 JK7LXU



ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
青森県支部

支部長 (JR7GBL)
平川正敏



ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

会長 (JA7AIW)
(東北地方本部長兼任)
山之内俊彦

JARL 青森県支部報の発行にあたりご挨拶申し上げます。
JARL 青森県支部会員の皆様におかれましては益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。日ごろ支部活動にご支援ご協力を賜ります会員の皆様、登録クラブ各位、支部役員の方々に心からお礼申し上げます。

新支部長として、一年間「組織の再構築」「底辺拡大の広報活動、技術講習会」「災害時のアマチュア無線の指針」などを目標に掲げ行動しました。一年間の経過・結果を踏まえ、今後とも継続して取り組みます。

各県支部同様に、青森県支部の現状は長期に渡る会員数減が続いています。この度の「JARL 創立 90 周年」を旗印に JARL 本部では会員増強運動を全国展開しています。青森県支部は日頃の活動に加え、県内の「おもちゃの病院」システムと協力、幼児のおもちゃ修理を通じて若いお父さん・お母さんに「アマチュア無線」を啓発します。

新企画の「技術講習会」は、支部会員ほか県内ハム仲間との交流・レベルアップの場造りを考えて進めてきました。最近 PC・Web 活用、関連ソフトのバージョンアップなど、ハムを取り巻く状況はスピード UP しています。今後はアンケート結果を含め、皆様のご希望を生かす「技術講習会」を目指します。

「日赤青森県支部アマチュア無線奉仕団」「青森赤十字奉仕団無線クラブ」を中心に、全県を想定した災害時ネットワークの再構築を目標に一年間が経過。これまで日赤弘前分団も立ち上がり全県的な組織再構築が急がれます。

支部大会は県支部直轄・各クラブ協力体制で 2 年目に入ります。2016 年は函館新幹線開業を含め、全県的な交通アクセス、開催時期などを総合的に判断して、青森市「八甲田丸」を会場候補にしています。支部大会、記念講演、公開運用、おもちゃ病院、ジャンクコーナー、技術講習会コーナーなどで広報に努めます。また支部大会前日開催の「支部役員・登録クラブ・監査指導合同会議」「前夜祭」の見直しを進め、新スタイルの「JARL 青森県支部大会・ハムの集い」を目指したいと考えています。支部会員各位のご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。

なお「第 43 回 JARL 青森県支部大会・ハムの集い」は 10 月 3 日 (土)、4 日 (日) に、支部直轄・八戸ブロック各クラブのご協力で八戸市プラザホテルで開催されます。多数の会員の参加をお待ちしております。

青森県支部の会員の皆様においては、ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます

日頃、青森県支部の活動にご協力いただき大変ありがとうございます。

会員の皆様、登録クラブ各位そして支部役員のみならず方には、心からお礼申し上げます。

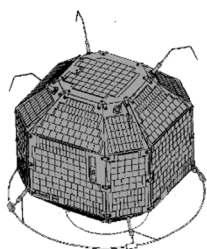
会長になりましてから、会員の減少を食い止める会員増強キャンペーン、そして今年 6 月からは、JARL 創立 90 周年を迎える一年間に入りました。8 月の JARL 創立 90 周年ハムフェア (8 月 22 日、23 日) に合わせて、皆様で 90 周年をお祝いする記念式典を 8 月 22 日午後 5 時から開催します。

本年 4 月 1 日から 90 周年記念の会員増強キャンペーンが始まっています。さらに、会費の自動振替お申し込みの方や、3 年間以上ご継続いただいている会員の方へ感謝の気持ちを込めた優遇プログラムも実施しております。また、青少年の JARL 入会金 (年会費) を免除し、助成と合わせて若い世代に入会しやすくすることが決まりましたこれらの詳しい内容は、JARL NEWS や JARL Web をご覧ください。また、JARL Web をリニューアル一新しました、ぜひご覧になってください。

90 年の間には、戦争や災害など多くの歴史的事柄がありました。中でも 20 年前の阪神淡路大震災、4 年前の東日本大震災を経て、アマチュア無線への注目度や社会的評価が高まり、市町村の防災行政当局からもアマチュア無線に対して大きな関心を集めております。

わが国のアマチュア無線と JARL の発展のために、ぜひ、皆様のお力で一人でも多くのご入会者をお迎えし、この素晴らしい趣味を次世代へ引き継いでいけるようご協力のほどお願いいたしますとともに、アマチュア無線界の発展に貢献できるよう頑張る所存でございます。

最後に、青森県支部の皆様のご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



アマチュア衛星「ふじ3号」イラスト

祝!! 第 43 回 JARL 青森県支部大会 & ハムの集い

- ◇JR7GBL
- ◇JA7OUV
- ◇JE7YSE
- ◇JK7LXU
- ◇JH7DXJ
- ◇JH7ULY
- ◇JL7SFU
- ※順不同
- ◇JA7AXP
- ◇JH7ZYM
- ◇JP7ATQ
- ◇JA7GUX
- ◇JF7PFW
- ◇J07GVC

(個人広告を頂戴した方の局名を掲載しました)



第 43 回 JARL 青森県支部大会 & ハムの集い

【青森県支部大会】

- 日 時：平成 27 年 10 月 4 日(日)
- 場 所：八戸プラザホテル 本館 2 階「プラザホール」
〒031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-9(☎0178-44-3123)
- 次 第：午前 9 時
 - ・開場 (JT65 公開運用、はちのへおもちゃ病院、ジャンクほか)
 - 午前 10 時
 - ・開会あいさつ (JARL 青森県支部長・平川正敏)
 - ・ご祝辞 (JARL 東北地方本部)
 - ・ご祝辞 (JARL 渡島檜山支部長・伊藤秀夫様)
 - 午前 10 時 30 分
 - ・第 13 回津軽海峡コンテスト表彰、第 9 回オール青森コンテスト表彰
 - 午前 11 時
 - ・県支部事業報告、同決算報告、同事業計画案説明、同予算案説明、質疑
- ※JARL ニュース用写真撮影
- 正午
 - ・お楽しみ抽選会
- 午後 1 時
 - ・閉会
- その他：記念写真の販売、昼食弁当のあっせんはありません。写真は県支部ホームページに掲載する画像データを自由に使用して下さい。ジャンク、販売、展示のブース利用は無料ですが、事前に県支部会計幹事・石岡まで連絡して下さい。E-Mail : jk7lxu@jarl.com



今回は「はちのへおもちゃ病院」開院

【ハムの集い (前夜祭)】

- 日 時：平成 27 年 10 月 3 日(土)午後 6 時から
- 場 所：八戸プラザホテル 本館 8 階「レストラン JUNO」
〒031-0081 八戸市柏崎 1 丁目 6-9(☎0178-44-3123)
- 会 費：1 人につき 1 万 3 千円(1 泊朝食付の前夜祭料金) ※前夜祭のみ 8 千円。
- 申 込：E-Mail で県支部会計幹事・石岡まで連絡を下さい。jk7lxu@jarl.com
八戸プラザホテルへの宿泊は申込順です。満員の場合は徒歩 5 分のホテルルートイン本八戸駅前に分かれての宿泊となります。
- 締 切：会費は 9 月 25 日(金)正午までに下記の振込先に送金して下さい。
振込手数料は送金人が負担して下さい。10 月 1 日(木)以後の解約は返金できません。
- 振込先：①ゆうちょ銀行＝記号 18490 番号 19188811 名義人：イオカヒカズ
②青森銀行問屋町支店＝店番 114 口座番号(普通)3033189 名義人：イオカヒカズ
- 連絡先：〒036-8066 青森県弘前市向外瀬 2-13-6
JARL 青森県支部会計幹事 石岡洋一 E-Mail : jk7lxu@jarl.com



前回の記念写真＝10月5日・青森市浅虫

◇平成26年度 青森県支部事業報告◇

行 事	年 月 日	記 事
JARL特別局8J740YYM運用	4月1日～8月31日	津軽スカイクラブ40周年記念局
第12回津軽海峡コンテスト	5月10日～11日	参加65局、青森県支部優勝109点
電波の日記念運用	6月1日	JARL青森クラブ、津軽スカイクラブ
登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議	6月8日	日赤県支部会議室
第8回オール青森コンテスト	7月12日～13日	県内40局、県外97局
青森県防災の日参加	9月1日	八戸市
渡島檜山支部大会参加(青函交流)	9月6日～7日	北斗市、14人参加
登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議	10月4日	青森市浅虫
第42回青森県支部大会&ハムの集い	10月4日	青森市「道の駅ゆ～さ浅虫」
交通安全と電波を正しく使おうキャンペーン	10月1日～31日	
登録クラブ代表者会議	12月14日	日赤県支部会議室
第1回技術講習会	平成27年3月15日	日赤県支部会議室「JT65」

平成26年度JARL青森県支部収支 決算報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

※単位:円

【予 算】		【実 績】	
(収入)	支部費 249,600	(収入)	支部費 249,600
	受取利息 1		受取利息 21
	前期繰越金 56,260		前期繰越金 56,260
	合 計 305,861		合 計 305,881
(支出)	会議費 52,000	(支出)	会議費 50,670
	催物費 110,000		催物費 161,007
	通信費 2,000		通信費 1,959
	事務印刷費 65,000		事務印刷費 59,706
	コンテスト費 20,600		コンテスト費 10,344
	雑費 0		雑費 7,603
	予備費 56,261		次期繰越金 14,592
	合 計 305,861		合 計 305,881

◇平成27年度 青森県支部事業計画(案)◇

行 事	年 月 日	記 事
JARL特別局8J730ZYM運用	4月1日～8月31日	CQ津軽ハムクラブ30周年記念局
第13回津軽海峡コンテスト	5月9日～10日	
第2回技術講習会	5月30日	電技パーツ本社「JT65」研修
電波の日記念運用	6月1日	
登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議	6月7日	日赤県支部会議室
第9回オール青森コンテスト	7月11日～12日	
青森県防災の日参加	8月27日	黒石市
渡島檜山支部大会参加(青函交流)	9月12日～13日	
第3回技術講習会	9月19日	電技パーツ本社
登録クラブ、監査指導、支部役員合同会議	10月3日	八戸プラザホテル
第43回青森県支部大会&ハムの集い	10月4日	八戸プラザホテル
交通安全と電波を正しく使おうキャンペーン	10月1日～31日	新バンドプラン広報
登録クラブ代表者会議	12月6日	日赤県支部会議室
第4回技術講習会	平成28年3月13日	日赤県支部会議室

平成27年度JARL青森県支部収支 予算(案)

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

※単位:円

【予 算】	
(収入)	支部費 248,600
	受取利息 0
	前期繰越金 14,592
	合 計 263,192
(支出)	会議費 50,000
	催物費 140,000
	通信費 2,000
	事務印刷費 60,000
	コンテスト費 10,000
	雑費 1,192
	合 計 263,192

第9回オール青森コンテスト結果 (平成27年7月11日~12日実施)

青森県・渡島檜山両支部共催 第13回津軽海峡コンテスト結果 (平成27年5月9日~10日実施)

Table with columns for category (e.g., 県内局, 通信の部), call sign, and score. Includes sub-sections for 県外局 and 電信の部.

Table with columns for category (e.g., 管内局, 個人・50MHZの部), call sign, and score. Includes sub-sections for 管外局 and 支部対抗.

【監査指導委員会 ガイダンス局運用報告】 (平成26年9月~平成27年6月実施)

Table showing message usage statistics for various frequencies (144MHz, 430MHz) across different months (H26秋, H27冬, H27春).

Text reports for each period, including dates, locations, and observations from the monitoring committee.

【平成27年度 JARL青森県支部役員】

Table listing the names and positions of the JARL Aomori Prefecture Branch officers for the 2016 fiscal year.

【青森県監査指導委員】

Table listing the names and positions of the Aomori Prefecture Monitoring and Guidance Committee members.

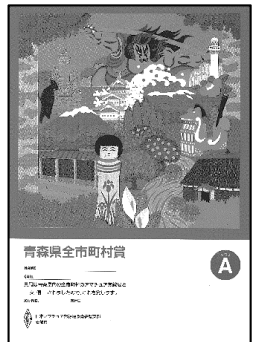
◇青森県全市町村交信(受信)賞 発行状況

Table showing the issuance status of the Aomori Prefecture All-City/Municipality/Village Communication (Reception) Award from 2014 to 2015.

※番号「A」=クラスA=10市30町村交信(受信)賞 「B」=クラスB=20市町村交信(受信)賞

【JARL青森県支部登録クラブ】

Table listing the registered clubs in the JARL Aomori Prefecture Branch, including club names, representatives, and contact information.



※名簿は全て平成27年8月1日現在

JARL 青森県支部登録クラブの近況

弘前アマチュア無線クラブ

かつては、144Mhz バンドで出るところもないくらい混雑していた時があったが、携帯電話の普及で状況が変わってしまった。携帯にて電話すれば確実に相手に連絡が取れ、便利なこと。こういう時代の流れに、アマチュア無線界は取り残されたのではないか。もっと早くアマチュア無線機と携帯電話が一体化したシステムが出来なかったのか。

これからは無線本来の楽しみを見つけてゆくことを考える必要があると思います。遠いところに電波を飛ばす、これは HF 帯でも VHF 帯でも同じだと思います。お空の状態が毎日同じではない、変化のある通信状況が無線のおもしろさかもしれません。

会長 JA7AXP 川村敏男

JARL 青森クラブ

当クラブの近況を報告します。

4月11日に24名の参加を得て総会・懇親会を開催。4月29日は芋煮会と称して「観桜会」を三内公園内の広場で開催、11名が参加。今年は暖かったせいで葉桜状態でしたが好天に恵まれた絶好の宴会日和で、昼からのアル変が大変盛り上がりしました。

5月31日には、「電波の日」記念公開運用を実施。参加局は10局。青函連絡船メモリアムシップ八甲田丸が改修工事のため、会場を自由ヶ丘町民会館に移し行いました。

7月19～20日には自由ヶ丘町民会館において「海の日」記念公開運用を実施。参加局はのべ26局。運用初日の夜に行った恒例の「納涼ビアパーティ」には大昭会会長始め、CQ津軽ハムクラブのメンバーを含め30名の参加でした。札幌から駆けつけてくれた会員もおりました。パーティ会場からは安瀟みなと祭りの豪華な打上花火が見られ、花火と美味しいビールを堪能しました。

今後の予定としては、9月12日～13日は外ヶ浜町平館の「おだいば」において恒例の移動運用の実施。10月3日～4日には八戸市で開催される県支部大会への参加。12月第1土曜日の「年忘れミーティング(忘年会)」の開催です。県支部大会には、当クラブも積極的に参加者を募りたいと思っているところです。

こうした行事のほか、毎週水曜日午後8時からのロールコール、機関誌「じよんがら」の毎月の発行、ねぶたアワードの発行を行っています。なお、「じよんがら」は8月号で419号、ロールコールについては8月5日で1,664回を数えております。

会長 JA7BUZ 山本俊行

アマチュア無線十和田クラブ

今年も厳しい暑さが続きましたが、JARL青森県支部の皆さんにはお元気でハムライフを楽しんでおられると思います。

アマチュア無線十和田クラブ「JA7YAZ」はクラブコール取得以来、半世紀を超えました。現在は38人の会員ですが、魅力ある活動を継続して会員数を維持、継続するのは、当クラブも苦勞しております。

最近のクラブ員の高齢化が進むなかで若い無線家の入会が少なく、大きな課題となっています。十和田市に限らず青森県、日本全国を見てもJARL入会者数が減り、アマチュア無線家数が減少しつつあり、危機感を募らせています。

さて、今年は10月3日(土)と4日(日)、十和田市で「B1グランプリ」が開催されます。記念QSLカードを作成しましたので、聞こえておりましたら交信をして下さるようお願いいたします。もれなくカードを送ります。

会場は十和田市役所周辺で行われますので、県支部会員の皆さまもぜひ会場に足をお運びいただいて、全国のB級グルメを食して下さるようお願いいたします。

会長 JM7GEB 小林閑則

五戸地方アマチュア無線クラブ

本年も例年のおとおり、津軽海峡コンテストにあわせてひばり野運動公園の近くのクラブ常設空中線設置場所において通常総会を開催しました。

事業報告、収支決算を承認、事業計画、収支予算等を決定し総会も無事を終了、平成27年度のスタートを切りました。

本年の主な行事等を紹介すると、移動運用(キャンプ、県支部主催コンテスト参加)、モバイルハイキング、新年アイボール会等、昨年と全く同じです。

数年前までの移動運用は毎年、八木アンテナなどを持参、新郷村、旧倉石村、五戸町を順繰りに移動運用サービ

ス、無線機器等の設営などキャンプを楽しんできましたが、近年は高齢化・気力の低下等から、少労力で気軽に参加できるクラブ常設空中線設置場所で楽しんでいきます。

移動運用、キャンプの楽しみは機器等の設営、無線局の運用は勿論ですが、何といたってもアウトドア料理を囲んでのアルコールミーティングです。

数年前までは焼肉をメインに定番の馬肉なべでしたが、近年では魚類の炭火焼き・サバ缶(水煮)のせんべい汁など、ローコストでヘルシーな料理に変わってきました。(高齢化がうかがえる)

ちなみに今年は解凍サンマ、イワシ、イカの一夜干しなどの炭火焼きに、豚汁のせんべい汁などでした。

当クラブは無線よりもアルコールが主で会員相互の親睦が図られている“なかよしくラブ”です。今後とも、会員の減少、高齢化等種々厳しい状況にありますが、地域クラブの継続運営、そしてアマチュア無線の活性化を図っていきたく思いますので、皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

会長 JH7ULY 川崎謙司

津軽スカイクラブ

皆さん、こんにちは。JA7YYM 津軽スカイクラブです。昨年は開局40周年特別局8J740YYM運用にあたり大変お世話になりました。

当クラブもご多分に漏れずメンバーも高齢化いたしました。次なる10年に向け進み始めました。毎週木曜日21:00に145.44MHzで実施のロールコールも、途中休業が有りましたが、1,600回を超える事が出来ました。

これからも会員の健康状態を考えながら細く長く続けたいと思っています。

会長 JA7GUX 成田賢治

オール青森 DX Ass'n

オール青森DXアソシエーション(AADXA)はHF・DX通信及びアマチュア無線技術に関する各種調査、研究を行い、かつ会員相互の友好の増進を目的とし約40年前発足しました。

最近では西部地区のメンバーが「DX熱」に発症しています。つまりアクティビティが非常に高くパイルδείのぎを削っている模様です。

AADXA全体に言える事ですが1アマ以上のライセンスを取得してKW局への変更検査を受け設備増強を行い、オールモード、つまりCW/SSB/SSTV/RTTY/Digital等の世界的なDXペディションへのパイル参加やコンテスト等の最前線で活躍しています。

近頃、注目のモードJT65へQRVの為の講習が開催されていますがメンバーの中でこのモードの講師を務める方も居ます。また、ANT工事やタワー建設の時はメンバーの経験と技術を持ち寄り作業しています。

従来から毎月発行している機関誌「AADXA BULLETIN」は既に466号発行済みです。最近では機関誌を郵送に代えネット配信し、事務局の負担を軽くしています。そして2016年は40周年記念事業の一環として、記念誌(480号)の発行とDX-Pedi.を計画しています。

さらに年2回、春と秋に各地区持ち回りで恒例のAADXA Meetingを開催し親睦を深めています。今年の春季Meetingは黒石の「宝温泉」で開催しました。そして今後は出来る範囲でMeeting開催地と開催月の固定化を図る事に。春季は浅虫温泉郷、秋季は十和田湖温泉郷でという事にしています。なお、Meetingはメンバー以外のゲスト参加を歓迎いたします。

今後は若い方々へ、HF・DX通信の面白さを伝授し生涯の趣味としてハムを楽しんでもらいたいのがAADXAの本音です。

現在の会員数は21名ですが、9割近くのメンバーが1アマ以上のライセンスを取得。現在10名がKWパワーでハムライフをエンジョイしています。今後ともKW変更検査予備軍が控えています。さらにKW局が増える見込みでパイルが熾烈になりそう。では、FB DX!。事務局 JH7JVJ 松原 節夫

CQ 津軽ハムクラブ

みなさんこんにちは。CQ津軽ハムクラブです。1985年8月1日に創立されてから、今年で30年になりました。

現在メンバーは21名。かつての半分ほどになりましたが、それでも元気な者は元気で、相変わらず毎月の飲み会を兼ねた例会と、コンテスト参加や移動運用、亡・新年会の開催など、四季折々のメニューで意気盛んに活動を継続しています。

今年は特に、4月からCQ津軽ハムクラブ創立30周年記念の特別局8J730ZYMの移動運用を、田舎館村、西目屋村、蓬田村、鶴田町、深浦町、つがる市などで行い、8月3日現在4,172枚のQSLカードを発行いたしました。来る8月31日の運用終了まで、総発行数約5,000枚を目標にラストスパートをかけているところです。

支部大会では、8J730ZYMと交信して頂いた各局からお声をかけて頂ければ幸いに存じます。

会長 JF7PFW 加藤全健

BeFM アマチュア無線クラブ

平成26年11月、階上岳山頂に設置しているDスターレピータのメンテナンスを行いました。パソコン不調で停止していましたが、交換作業を実施した結果、快調に動作するようになりました。皆様ご自由にアクセスしてお楽しみください。

平成27年5月、BeFMコミュニティラジオ局会議室でクラブ総会を開催しました。役員統投が決定され、さらに地域クラブとしての役割も果たす方向で活動することを確認しました。総会終了後、近くの居酒屋で親睦会を開き各局と親交を深めました。

6月、青森市で行われた支部会議に出席しました。10月に八戸市で開催される青森県支部大会をクラブでお手伝いすることを確認しました。会議には山之内 JARL 会長、平川県支部長が出席されており、BeFM アマチュア無線クラブが八戸での地域クラブとして活動することに対して支援する旨の言葉をいただきました。

事務局 JA7BLS 田端大資

青森赤十字奉仕団無線クラブ

当クラブは昭和47年5月に発足、活動している特殊奉仕団です。青森、弘前、十和田、八戸、三沢、むつ下北、五戸の各分団で構成、災害発生時に趣味のアマチュア無線を生かし情報の伝達をはじめ、赤十字活動を通して奉仕する事を目的として設立されました。

日頃の活動はアマチュア無線による感度交換訓練を各分団で実施の他、月2回は県下各分団員と交信、各種防災訓練への参加、赤十字活動で行われる救急法・炊き出し訓練や各種活動への参加、研修会などを行っています。最近では東日本大震災の反省を踏まえ、近県のアマチュア無線奉仕団との連携を構築するなどしております。

活動に興味がある局はメールで事務局(jg7saf@jarl.com)またはFAX(0172-53-5802)まで、お住まいの地域、コールサイン、お名前と連絡先をお知らせ下さい。事務局より返信、または連絡をいたします。

事務局 JG7SAF 工藤 眞己

さんのへスカイハムクラブ

こんにちは、JE7YSE さんのへスカイクラブです。当クラブの年間の目標は、年頭のQSOパーティー、津軽海峡コンテスト、オール青森コンテストの3つには必ず参加する事です。

今年は初めて津軽海峡コンテスト、オール青森コンテスト両コンテストに移動運用で参加しました。結果は津軽海峡コンテストの移動地が悪かったせいか交信局数も伸びませんでした。来年は場所を変えてみたいと思います。オール青森コンテストは交信局数が常置場所より多く良かったです。

また、今年は「道の駅さんのへ」での移動運用も計画していますが、まだ実現しておりません。必ずやりたいと思っています。

このような活動をしている少人数のクラブですが、県南よりCQが聞こえていたらQSOよろしくお願ひします。

会長 JL7SFU 徳田 勝正

